

日本女子大学大学院文学研究科

紀 要

第25号

日本女子大学大学院文学研究科

紀 要 第25号

平成三十年

JOURNAL

of

The Graduate School of Humanities

25

Relationship between Grammatical Ability and Listening Ability in Listening Comprehension Problems Using 'te-morau'	SHIRATORI Ai · 1
The Struggle for a Voice in Saul Bellow's <i>Dangling Man</i>	INOUE Asa · 23
—————	
A Study of "Poems Composed on Stopping by the Grave of the Ashiya Maiden"	YASUI Ayako · 1
An Approach to the Character Sanmi Chujo in <i>Waga mi ni tadoru himegimi</i> : Regarding His "Deeply Thoughtful Manner" and Illicit Liaison	OTSUKA Chisato · 13
The <i>Genpei Jhosuiki</i> as Seen in the <i>Heike Monogatari Hyoban Hidensho</i> : Considered in Terms of the Estimations of Kiyomori, Munemori, and Emperor Antoku	ABE Michiyo · 27
The Interaction Between Arakida Reijo and Rai Shunsui: Regarding Shunsui's Preface to Reijo's <i>Hatsu uma no nikki</i>	TOKITA Saori · 41
Towards a re-reading of Naoya Shiga's <i>Kozo no Kamisama</i>	UESUGI Saki, KATAGI Akiko, KANEKO Yuka, KUMAKURA Moe, LI Nana, WATANABE Mami · 51
ITodaiji Nigatsudo Shunie and Kosha — with the focus on Ichinoitaimatsu-ko —	AEBA Sanae · 73
The theme of The " <i>Kuwanomi</i> -Temple Picture Scroll" (<i>Kuwanomi</i> -Temple Emaki) (1)	KOTANI Ryoko · 91
Central sericulture engineers during the early Meiji period	TSUCHIKANE (DOI) Kazuko · 111

「過」葦屋処女墓「時作歌」考	安井 絢子 · 1
『我が身にたどる姫君』三位中将論 — 「心深き御癖」と密通をめぐって!	大塚 千聖 · 13
『平家物語評判秘伝抄』の中の『源平盛衰記』 — 清盛・宗盛・安徳天皇の評価をめぐって!	阿部 美知代 · 27
荒木田麗女と頼春水の交流 — 麗女『初午の日記』春水序文について!	時 田 紗緒里 · 41
志賀直哉『小僧の神様』再読のために …… 上杉 沙紀・片木 晶子・金子 結咲・熊倉 萌・李 娜娜・渡部 麻実	饗 庭 早 苗 · 51
東大寺二月堂修二会と講社 — ノノ井松明講を中心に!	饗 庭 早 苗 · 73
『桑実寺縁起絵巻』と慶寿院の結婚をめぐって(上)	小 谷 量 子 · 91
明治前期における中央蚕業技術者 — 蚕業試験場を中心に!	土金(土井) 師子 · 111
「てもらう」を使った聴解問題における文法能力と聴解能力の関係性	白 鳥 藍 · 1
The Struggle for a Voice in Saul Bellow's <i>Dangling Man</i> — ソール・ベロー『宙ぶらりんの男』の声獲得への苦闘	井 上 亜 紗 · 23
平成三十年度大学院文学研究科学位論文・修了論文題目・研究主題一覧	35

平成30年
日本女子大学

2018
Japan Women's University

日本女子大学大学院文学研究科紀要

編集規定(抜粋)

1. 本紀要は、本研究科学生および修了者に対して、研究を発表する場を提供することを主たる目的とし、毎年三月に発行する。
2. 略
3. 本紀要に執筆できる者は、以下の通りとする。①本研究科在學生、②本研究科修士課程または博士課程前期修了者、後期課程の所定の年限以上在籍し所定の単位修得後に退学した者、本研究科において博士の学位を授与された者、③本研究科専攻教員。
4. 本紀要に掲載する論文は、単著・共著を問わない。ただし共著の場合は、執筆者の少なくとも1名が、本規定第3項に該当する者であること。
5. 論文の執筆者が、本規定第3項の①または②に該当する場合は、当該専攻による選考を経ること。
- 6・7. 略
8. 執筆者には抜刷40部を贈呈する。それ以上は、実費を本人負担とする。
9. 本紀要に掲載された論文等(書誌情報、画像情報、本文)の著作権(著作財産権、copy-right)は執筆者に属するが、執筆者は本学リポジトリなどへ電子化し公共の利用に供すること、および、それに付随する複製権、公衆送信権の行使について日本女子大学に許諾する。

執筆要項

1. 原稿は、図表および注を含めて400字詰原稿用紙30～50枚とする。英文の場合はこれと同等の長さとする。
2. 原稿の紀要委員会への最終提出期限を10月末とする。
3. 原稿は、原則として横書きとする。ただし、日本文学および史学専攻においては縦書きとすることができる。
4. 原稿は、原則としてデジタルデータとプリントアウト2部を提出すること。デジタルデータには作成環境、氏名をテキスト形式で明記すること。(事故に備え、提出前にあらかじめ原稿のコピーを手元に保管しておくこと。)
5. 原稿には、英文タイトル、ローマ字氏名、所属および大学院修了年を明記すること。ただし、英文論文は、日本語タイトル、氏名を明記すること。
6. 原稿には、横書き和文700字程度の要旨と、英文による500語程度の要旨を、そして和文・英文ともにそれぞれ5語以内のキーワードを添付すること。
7. 図表は、本文とは別紙に書き、「図1」「表1」のように通し番号をつける。表の題名はその上部に、図と写真の題名は下部に書く。説明文はいずれも下部に書くこと。そして、本文の右余白に、表、図、写真の挿入箇所を指定しておくこと。
8. 校正は原則として再校までとし、著者が行う。

日本女子大学大学院文学研究科紀要 第25号

平成31年(2019) 3月15日 発行

編集委員 石井倫子・藤井洋子・高頭麻子
時田紗緒里・越後谷明恵・是恒香琳

発行者 日本女子大学
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
電話 03-3943-3131 (代表)

印刷 株式会社 秀 飯 舎
〒331-0058 埼玉県さいたま市西区飯田70
電話 048(624)1121